

EAST ASIA DIGITAL LIBRARY の公開について

令和2年12月17日、EAST ASIA DIGITAL LIBRARY (EADL) を公開しました。

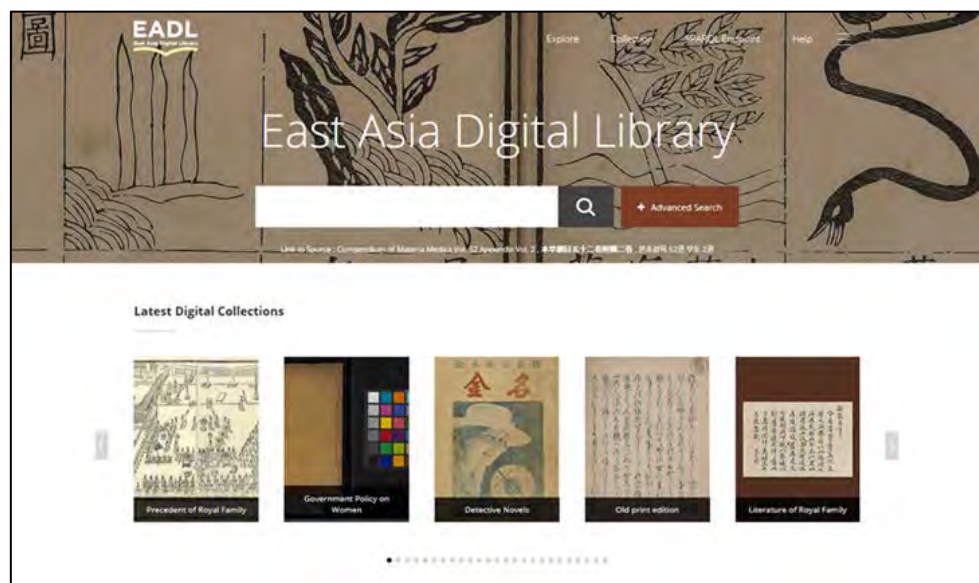
EADL は、東アジアの文化・学術資源を対象としたポータルサイトです。運営館である韓国国立中央図書館と、参加館である国立国会図書館が協力して構築・運用しています。

EADL では、両図書館が所蔵する古典籍資料等をまとめて検索することができます。両図書館がデジタル化した古典籍資料約8,000件の書誌データを収録しており、キーワード検索のほか、資料のタイトル、作成者、主題による詳細検索が可能です。対象データは、今後拡大していく予定です。

検索結果から、それぞれの図書館のデジタル資料閲覧サイトに遷移して、本文画像を閲覧できます。資料をテーマ別に分けて表示することができるほか、時間・時代別のコレクションページも設けています。

EADL のデータは、EADL が提供する API (SPARQL エンドポイント) を通じて、他のアプリケーションでも利用することが可能です。

EADL を通して、東アジアの豊かな文化・学術資源をご活用ください。



EAST ASIA Digital Library (<https://eadl.asia/home/>)

サイトは、日本語・中国語・韓国語・英語の4か国語で利用できます。

◆問い合わせ先： 国立国会図書館 総務部総務課 広報係 TEL：03-3506-5103（直通）